

令和2年度 京都府立南丹高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階 ・ **実施段階**）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本府における総合学科高校の中核的役割を踏まえ、総合学科の特色を生かした教育活動を推進する。 ○ 確かな学力と豊かな人間性を基盤とする知徳対の調和のとれた成長を促し、自立した社会人としてたくましく生きる力を育成する。 ○ 郷土（京都・口丹波）に対する親しみと理解を深め、地域に貢献できる人材を育てるとともに、地域から信頼される学校作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「産業社会と人間」や「課題研究」（総合的な探究の時間）など、特色ある枠組みを構築しつつあるが、細部について一層の検討が必要である。 ○ 四年制大学や短期大学、専修学校、就職など多様な進路希望に対して、希望の実現は概ね達成できたが、より高みを目指す意識の高揚が必要である。 ○ 身だしなみや挨拶などの指導は継続できているが、授業規律や遅刻の防止など改善の余地がある。 ○ 部活動の加入生徒が減少傾向にあり、さらなる活性化が必要である。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 新学習指導要領と総合学科全国大会（令和3年）を踏まえた総合学科教育の充実と探究活動の推進。 2 志願者数確保に向けた広報活動の推進。 3 基礎学力の定着と進路指導の充実による希望進路の実現と総合的探究系列の趣旨を踏まえた指導の充実。 4 社会人基礎力の基盤となる基本的な生活習慣を身につけさせる取組の推進 5 人権意識を醸成し、人権問題を解決する実践力を育成する取組といじめ防止に対する取組を推進。 6 部活動の活性化と加入率の向上 7 テクニカル工学系列の充実に向けた関係機関との連携推進。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価		成果と課題	
組織・運営	総合学科教育の充実と探求活動の推進	新学習指導要領に向けた教育課程の作成及び系列の内容の検討と改善	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策による臨時休業、行事の中止など、年度当初の計画を見直ししながら教育活動を進めた。 ・新学習指導要領に向けた教育課程の作成、系列の検討、改善については、令和3年度の教育課程の作成にも反映させ、個に応じた放課後の活用を中心に改善を進められた。新学習指導要領にむけ、さらに検討を重ねたい。
		総合学科全国大会(令和3年度)に向けた取り組みの推進	B	A		
		テクニカル工学系列の充実に向けた関係機関との連携の推進	B	A		
学習指導 進路指導	基礎学力の充実と学力の伸長による希望進路の実現	システム手帳等を用いた基本的な生活習慣、学習習慣の確立及び基礎学力の伸長	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導、部活動の加入など、生徒に対する働きかけをする時間が十分に確保できなかった。
		進路指導計画にもとづいた学習指導による学力の向上と希望進路の実現	B	B		
		知的探求系列の指導の充実				
生徒指導 広報活動	主体性の育成 社会性の育成 地域連携 広報活動	部活動の活性化と加入率の向上	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した特色ある探究的な取組は成果を上げることができた。 ・広報活動は、説明会等などが中止される中でできる限りの対応を進めることができた。年間を通じた広報活動の推進により、本校の魅力の発信を推進できるように検討を進めたい。
		社会人基礎力の基盤となる基本的な生活習慣の確立	B	B		
		人権意識の醸成と規範意識を身につける取組の推進	B	A		
		南丹高校の魅力を発信する広報活動の推進	B	B		

（評価の基準 A:十分達成できている B:ほぼ達成できている C:成果はあったが目標の達成には不十分である D:ほとんど達成できていない）